



4月の生活目標

学校のきまりを守ろう

令和5年度の開幕

校長 山下 裕司

自立した学び舎 三小スタイル

お子様のご入学、ご進級、心よりお祝い申し上げます。

今年度も本校の校長を務めます山下裕司（やました ひろし）です。どうか、よろしくお祝い申し上げます。

さて、今年度からこの看板を掲げて第三小学校は、教職員が1つの目標を共有し一意専心、子どもたちが真に楽しめる学校となるよう、学びの本質に迫る子どもの学びを創造してまいります。今日、その一歩を踏み出しました。

何事も初めの一歩から始まります。春になると桜は毎年咲きますが、春が来るから始まるわけではありません。例え春が来なくとも、桜が咲かなくとも、踏み出した時が始まる瞬間なのです。だから、いつ始めるかが大切なのではなく、勇気を出して踏み出すその一歩がとても重要なのです。

個別最適な学びは、指導の個別化、学習の個性化、つまり個に応じた指導であります。決して、個別指導ではないのです。個別指導ならば、子供一人に一人の教員を配置しなければ実現できません。学校教育がねらうのは、個別指導ではなく、個に応じた指導を図りながらも、孤立しない学び、集団での学びに生かされる学びを実現させることです。個別最適な学びと協働的な学びの往還こそが、三小スタイルの根柢の学びとなります。三小の伝統的なよさである協力的な保護者、地域の皆様の支えと開放的な魅力ある施設環境、このよさをフルにいかして「自立した学び舎 三小スタイル」を、これから年を重ねながら熟成させていきます。

先月、「これをみれば令和5年度の三小がわかるまるわかりリーフレット」をデータ配信させていただきました。本日、改めて新1年生の保護者の皆様も含め配信させていただきます。具体的な16の取組を示しております。

特に、地域ぐるみで子どもの体力向上のための取組として「⑥新体力調査システム」では、最大延べ294名の学習ボランティアを募集します。明日、別紙にて詳細を通知いたしますので是非ご協力をお願いいたします。

もう1点、「⑫交通安全・挨拶週間」の取組では、来週の月曜日にご協力をお願い文書とともに携帯できる黄色い小旗を家庭数で配布いたします。地域の方々と協働し、子どもたちの登校の安全を見守りながら駅前を朝から子どもの挨拶の声が溢れるすてきな街にしたいと考えています。こちらも是非ご協力ください。

最後に、ある著書の抜粋をご紹介します。

「いつまた襲ってくるかもしれない再度の感染拡大に備え、休校中に得た経験や教訓に基づき、様々な準備を始める必要もある。何より、今回のコロナショックを通して多くの教育関係者が気付いたのは、そもそも子どもを自立した能動的な学び手、アクティブ・ラーナーに育て上げることこそが学校が最優先に取り組むべき課題であり、そして抜本的なコロナ対策にもなるということであった。」

（「ポスト・コロナショックの授業づくり」2020年編著 奈須正裕 東洋出版社）

本日、意味ある一歩を踏み出した三小子どもたち（誰一人取り残すことなく包摂的に育てる本校の宝）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
児童数	125名	119名	128名	125名	111名	119名	727名
学級数	4	4	4	4	3	3	22

【学園教育目標】

地域や自他を愛し、自ら未来を主体的に切り拓く、自立した児童・生徒を育成する。

○すすんで学ぶ人 ○感謝と思いやりの心をもつ人 ○たくましい心と体をもつ人 ○地域・社会に貢献する人

【三小教育目標】

○輝くひとみ ○やさしい笑顔 ○健やかな体 ○つながる心

【目指す学校像】

「今日の学びを大切にし、明日の学びを楽しみにできる学校」